

加藤衛 （おと） 演劇評論家。大正二年十一月九日神奈川県生れ、平成四年二月十九日歿（一九四一・九二）。昭和十五年上智大學卒。東京都より工業專門學校・東京水産大學各助教教授歴任。横濱演劇研究所所長。

著譯書 『演劇の本質』（昭和二十二年十一月一日白鷺書房）、ギョウター・ヴァイゼンボルン作『天使が一人天降る』（訳、昭和二十一年五月十日白水社）、コットマン他作『加藤衛一幕物集・戯談篇Ⅰ』（訳、

横濱演劇研究所出版部編、昭和四十年六月十五日横濱演劇研究所「よ

こはま演劇叢書」）、『ヤマチユヤ （高） 演劇脚本集』（編、昭和四十年七

月二十日宝文館出版株式会社）、ブレヒト他作『加藤衛一幕物集・戯談篇Ⅱ』（訳、横濱演劇研究所出版部編、昭和四十二年五月十一日横

濱演劇研究所「よこはま演劇叢書」）、『戦後横濱のヤマチユヤ演劇』

（昭和四十四年十一月一日横濱市教育委員会云「横濱の文化」）等。